

JR連合 グループ労組連絡会 2024春闘決起集会開催



2月9日大阪市内において開催され、貨物連合より5名が出席しました。主催者の挨拶に立った奥村代表幹事は「我々の生活は値上げが相次ぎ、実質賃金はマイナスとなっている。JR連合グループ労組がONE TEAMとなり勝利を勝ち取り生活改善を目指そう」と力強く訴えました。JR連合荻山会長の挨拶では「安全の取組・生活改善・春闘取組」について述べられ、JR連合住吉局長よりJR連合春季生活闘争方針の提起された後、連合・総合政策推進局より仁平総合局長より「2024春季生活闘争と労務費を含む適切な価格転嫁について」について講演がありました。

各分科会代表決意表明では、陸運分科会を代表して南関東ロジ労組宮本書記長が発言し、陸運業賃金の実態を交えながら、人財・人手不足により増収に向けた取り組みが出来ずに増収のチャンスを逃している事例や改善への要望等、陸運業界の現状や悲痛さを訴えました。集会最後に奥村代表幹事による「団結ガンバロー」で、2024春闘がスタートしました。



貨物鉄産労は、2月13日、春闘要求書を提出しました